

福島県会津坂下町において、会津こもれびバイオマス発電所が営業運転を開始

～安全対策を徹底し、脱炭素社会の実現に貢献～

2024年12月2日

合同会社会津こもれび発電所

東京産業株式会社

株式会社東京エネシス

株式会社北越マテリアル

株式会社SHICHIJO

合同会社会津こもれび発電所〔出資会社：東京産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：蒲原稔）、株式会社東京エネシス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：眞島俊昭）、株式会社北越マテリアル（本社：福島県河沼郡会津坂下町、代表取締役：大矢秀樹）、株式会社SHICHIJO（本店：東京都千代田区、代表取締役：七條正嗣）〕が建設を進めてきた「会津こもれびバイオマス発電所」が、昨日、営業運転を開始しました。

本発電所は、福島県河沼郡会津坂下町に位置する、国産の木質チップ（未利用材や一般材、建設廃材）を発電燃料とする出力規模7,100kWのバイオマス専焼発電所です。年間送電量は約5,100万kWhを見込んでおり、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT制度）を利用し、発電する電気全量を東北電力ネットワーク株式会社に売電します。

本発電所の建設完了・運転開始にあたり、地域の皆様や関係各所のご理解・ご協力に対しまして、感謝申し上げます。

合同会社会津こもれび発電所は、引き続き地域の皆様からのご理解・ご支援をいただきながら、安全対策を徹底した上での事業運営に努め、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

◆事業概要

事業者 : 合同会社津こもればい発電所
出資比率 : 東京産業株式会社 : 46%
株式会社東京エネシス : 46%
株式会社北越マテリアル : 5%
株式会社SHICHIJO : 3%
代表者 : 代表社員 東京産業株式会社 職務執行者 上入来 剛
代表社員 株式会社東京エネシス 職務執行者 堀川 優次郎
事業内容 : 電気等供給事業
発電所所在地 : 福島県河沼郡会津坂下町坂本工業団地内
発電出力 : 7,100kW
発電電力量 : 約5,100万kWh/年 (一般家庭 約1万7000世帯分相当)
使用燃料 : 国内木質チップ (未利用材、一般木材、建設廃材)
売電先 : 東北電力ネットワーク株式会社 (FITによる20年間固定価格買取)
工事着工 : 2022年4月1日
営業運転開始 : 2024年12月1日

<発電所全景写真>



以上

<本件に関する問い合わせ先>
合同会社津こもればい発電所
info@aizu-komorebi.co.jp